

平成27年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	生活保護適正実施事業			
予算科目	3 款 3 項 1 目			
総合計画での位置付け	福祉の向上と保健・医療の充実～やすらぎとぬくもりのまちづくり～ 福祉施策の向上と充実			
所管課情報	担当課:	福祉課	電話番号(内線):	526
記入者情報	所属長:	渡辺 悦子	担当責任者:	米湊 明弘
事業の性格	内部管理事務			
実施期間	【開始年度】平成 18 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	生活保護受給者及び生活困窮者			
根拠法令等	生活保護法			
事業の目的	医療扶助の適正化・関係職員の資質向上			
事業の内容	診療報酬明細書等点検充実事業・関係職員等研修・啓発事業			
改善策の 具体的 取り組み (当初)	専門職によるレセプト点検の実施と補助職員の医療事務に対する知識の向上			
改善策の 具体的 取り組み				

事業費及び財源内訳					
項 目		26年度決算	27年度予算	9月末の執行状況	27年度決算
事業費	直接事業費	3,371	396	238	645
	人件費	1,114	1,126	563	1,126
	合計	0	1,522	801	1,771
人件費 内訳	人工数	0.14	0.14	0.07	0.14
	人件費単価	7,954	8,042	8,042	8,042
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	1,113	1,125	562	1,125
財源内訳	国庫支出金	406	252	0	460
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	4,079	1,270	801	1,311

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	26年度実績	27年度予定	9月末の実績	27年度実績
レセプト点検委託事業	件	6670	7200	2689	6634
新任査察指導員基礎研修会	人	1	1	0	0
市部福祉事務所職員研修会	人	1	1	1	2
生活保護担当CW全国研修会	人	1	1	1	1

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	5年間の実績
	250	250	0	0	0	500

成果指標				
成果指標	医療扶助過誤調整額(千円)			
指標設定の考え方	レセプト点検を専門業者に委託することによる効果額を算定する。			
区分年度	26年度	27年度	28年度	目標27年度
目 標	1300	1300	0	0
実 績	3752	1710	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5	A
		市民ニーズへの対応	5	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	5	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	医療機関からの医療請求が正確適切に実施されているか点検している。今年度は、資格及び内容点検で76件の1,710千円の過誤調整を行い適正な審査体制が実施された。また、受給者や医療機関へ後発医薬品の推奨では、適切な周知等により国基準の推奨率75%を上回る結果を得た。今後も県と合同で実施する医療機関への個別指導、受給者に対して重複受診及び向精神薬の重複処方への徹底した指導を行い適正な事務執行に努める。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5	A
		市民ニーズへの対応	5	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	医療事務業者によるレセプト点検を随時行い、診療報酬の過誤請求など実績を積上げ、医療機関への指導や重複受診・薬剤のチェックを行い、また、ジェネリック薬品の推奨など、医療費の削減に努めている。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価  
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題